

第20回 通常総会

日 時 令和 5年 2月15日 (水) 16時から
場 所 ホテルライフオー・札幌
2F ライフオー・ホール I・II

特定非営利活動法人
北海道みなとの文化振興機構

特定非営利活動法人 北海道みなとの文化振興機構

第20回 通常総会議事次第

日 時 令和5年2月15日（水）16時00分～17時00分

場 所 ホテルライフオーブ札幌 2F ライフオーブホールⅠ・Ⅱ

1. 開 会

2. 会員定足数報告

3. 会長挨拶

4. 来賓挨拶

5. 議長選出

6. 通常総会

1) 通常総会開会宣言

2) 議事録署名者選任

3) 議案審議

第 1 号議案 令和4年度事業報告

第 2 号議案 令和4年度収支決算報告並びに監査報告

第 3 号議案 令和5年度事業計画(案)

第 4 号議案 令和5年度収支予算(案)

第 5 号議案 役員選任について

4) 退任・新任役員挨拶

5) 通常総会閉会宣言

7. 閉 会

1 定款の事業名 港への理解と利用促進に係わる広報活動及び支援並びに
海洋及び港に係る教育、文化活動及び支援

(1) みなとサポート業務

本事業は、当NPO法人の自主事業（派遣費用等はNPO法人負担）として平成20年より取り組み、全道の開発建設部が開催する「みなと見学会」などの予定行事の中で、当法人の「みなとサポーター」の支援を要望する箇所を検討し、「みなとサポーター」の支援が実施可能と判断した箇所に、日帰り可能な範囲で会員を派遣してきました。

「みなとサポーター」の業務内容は港湾業務艇への乗船支援、記念グッズ配布などを主に担当しています。

今年度は以下の港で実施いたしました。

- ・みなと見学会 1港 石狩湾新港

令和4年7月20日（水）～21日（木）（2日間）

石狩市内小学校4校の3・4年生144名、引率教諭13名

- ・「みなとサポーター」参加人数 延べ4人（2名が2日間）

(2) みなとパネル展

当NPO法人の「みなとパネル展」は、令和4年9月2日（金）「ザ・シンポジウムみなと in 室蘭」の開催に協賛し、また、実行委員会の支援を得てシンポジウム会場（室蘭市市民会館）で行いました。

パネル展は、北海道開発局室蘭開発建設部、室蘭工業大学「室蘭+脱炭素タスクフォース」及びMOPA（室蘭洋上風力関連事業推進協議会）と共に、当NPO法人からは「世界と日本の洋上風力発電導入や水素エネルギーの活用に向けた動き」3枚と「NPOの設立までの経緯と活動状況の紹介」2枚のパネルを展示しました。

脱炭素の取り組みを中心とした内容の展示を、シンポジウムに参加された多くの方にご覧いただきました。

(3) 広報誌「伝言板」の発刊

当NPO法人の活動情報や種々の関連情報を会員に伝えると同時に、一般の方にも「みなと」の役割と暮らしとの関わり合いを広く理解していただくため、広報誌「伝言板」を平成15年10月に創刊以来、今年度は37号を令和4年4月に、38号を令和4年11月に発刊しました。

(4) 着ぐるみ（「ぽーとん」くん・「べいくりん」ちゃん）貸付事業（有償）

今年度も昨年同様新型コロナウイルス感染拡大により、全道で開催されたイベントにおいての着ぐるみの利用はありませんでした。

(5) 記念グッズの配布（無償）

当NPO法人では、ノート、ボールペン&マーカー及びキャラクターシールを作成しており、要望のあった箇所に各種イベントに際しての記念グッズとして配布（無償）しています。

今年度は開発建設部や「北海道みなとまちづくり女性ネットワーク」から要望のあった7箇所に1,030セットを配布しました。

(6) 北海道みなとの文化研究準備室

令和元年6月に当NPO法人内に北海道みなとの文化研究準備室を立ち上げ、北海道内の子供たちに地域のみなと歴史やまちづくりとの関わりなどについて、楽しくその魅力を伝えたいとの思いを持って活動しています。

今年度の活動としては(一社)寒地港湾空港技術研究センターの自主研究協力として、道内港湾について港とまちの発展の歴史を整理し、戦前から整備されてきた道内の重要港湾を対象として歴史年表の作成を行いました。

2 定款の事業名 港湾・空港・漁港の防災業務及び災害復旧に係る活動・支援

(1) 防災エキスパート支援

北海道開発局防災エキスパート制度(港湾・空港・漁港)は平成18年4月に発足し、港湾・空港・漁港施設等の整備・管理などの専門的知識を有し、大規模災害発生時にボランティアとして支援活動を行うこととしております。

平成18年4月発足時の登録会員は、26名でスタートし、その後、登録会員の一部交代を北海道開発局港湾空港部(事務局)と協議をしながら行っています。

① 北海道開発局防災エキスパート(港湾・空港・漁港)の認証式及び研修会

今年度の防災エキスパートの認証式は令和4年12月9日、北海道開発局港湾空港部長室で行われ新規登録者4名へ登録通知証の交付が行われました。現在、下表のとおり総勢33名の体制となっています。

研修会はTKPカンファレンスセンターで、当法人の眞田理事長ほか防災エキスパート26名が参加して開催されました。

主催者であります北海道開発局鈴木港湾空港部長よりのご挨拶の後、港湾空港部空港・防災課の大黒港湾保安管理官より、防災エキスパート制度についてと港湾空港部からの情報提供が、防災エキスパート鈴木リーダーからは防災エキスパートのこれまでの活動報告がありました。

その後、港湾空港部星空港・防災課長の司会により、平成30年9月に発生した北海道胆振東部地震時に活動した際の事例を元に、事務局との情報共有や防災エキスパート参集の連絡体制、派遣人選などの課題について意見交換を行い、今後の災害発生時における活動体制の改善を進めることとしました。

防災エキスパート登録者氏名 令和4年12月9日現在 敬称略

NPO法人 北海道のみなとの文化振興機構 事務局 眞田 仁・三原 一憲・斉藤 賢悦・大前 豊・高木 哲夫・秋葉 洋一・宮部 秀一 渥美 洋一・鈴木 一行・秋浜 正弘・石川 洋一・上川 功一・飯田 誠 平尾 利文 【防災エキスパートリーダー】 鈴木 一行 【防災エキスパート副リーダー】 秋浜 正弘
【南地区】函館・室蘭開発建設部管内(12名) ○石川 洋一・鈴木 一行・今林 弘・若松 洋昭・鈴木 勝晴・千葉 不二夫 宮部 秀一・秋葉 洋一・川村 求・岡本 節雄・中村 篤・渡部 優
【東地区】釧路・網走開発建設部管内(11名) ○本間 久雄・上野 強・伊藤 文彦・吉田 義一・柿崎 永己・斉藤 賢悦 折原 靖大・櫻井 博・佐藤 浩彰・高木 哲夫・矢野 隆博
【北地区】札幌・小樽・留萌・稚内開発建設部管内(10名) ○岡崎 光信・三原 一憲・大前 豊・川村 和彦・小玉 茂義・竹腰 隆志 小路 邦夫・秋浜 政弘・相馬 洋・岡島 大二

○は地区リーダー

② 令和4年度 室蘭港大規模地震・津波総合防災訓練

令和4年10月8日(土)に北海道開発局港湾空港部、室蘭開発建設部、室蘭市の主催による、「室蘭港大規模地震・津波総合防災訓練」が室蘭港入江地区耐震強化岸壁で開催されました。

三陸沖北部を震源とする大規模地震及びこれに伴う津波の襲来による災害によって、港湾施設に被害が発生した場合の港湾機能の早期復旧などに備え、関係機関との連携及び防災意識の向上を目的として、16の機関・団体が参加し当NPO法人からも防災エキスパート4名が参加して総合訓練を実施しました。

訓練は「避難訓練」、「広域会場点検訓練」、「油回収訓練」、「被災状況調査訓練」、「油拡散訓練」、「港湾巡視訓練」、「航路啓開訓練」、「漂流者捜索・救助訓練」、「緊急支援物資輸送訓練」の九つについて行われ全参加機関・団体が持っている力を存分に発揮し終了しました。

当NPO法人の防災エキスパートは「被災状況調査訓練」を担当し、被災した岸壁をテープによる距離測量と、レベルによる水準測量を行い、被災状況を迅速かつ正確に室蘭開発建設部室蘭港湾事務所長に報告しました。

3 定款の事業名 活動等に関する情報収集及び調査研究

(1) みなと座談会

「みなと座談会」は、「北海道みなとまちづくり女性ネットワーク」と共催で、みなとを核としたまちづくりを女性の視点から考え、各地域の活動を通じた意見交換の場として、平成16年より毎年各女性ネットワークの活動都市を持ち回りで開催しております。

今年度は、3年ぶりの開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの感染が拡大している状況から令和4年内の開催を見送り、令和5年2月21日(火)に札幌で開催いたします。

(2) ネットワーク強化

- ① 事務局と当NPO法人各支部(札幌・函館・苫小牧・釧路)の情報を共有し、みなとサポート事業、みなとのパネル展、みなと座談会などの事業実施を円滑に進めることを目的に支部長等会議を開催しています。

今年度は新型コロナウイルスの感染が拡大している状況から中止としました。

- ② 道内で活動している「北海道みなとまちづくり女性ネットワーク」との連携強化に努めています。
- ③ 「北海道みなとオアシス活性化協議会」に参加し、各オアシス相互の情報交換や協議会加盟団体との意見交換により情報を得ています。
- ④ (一社)ウォーターフロント協会に入会し、港湾におけるウォーターフロント開発事業に関する情報を得ています。

(3) 情報収集

- ① 「みなとオアシス全国協議会事務局」より発信される「みなとオアシス便り」でみなとオアシスに関する各地活動状況の情報を得ています。
- ② 北海道市民活動団体情報提供システムに登録し、北海道市民活動促進センターより発信される市民活動状況やNPO運営等に関する情報を得ています。

4 定款の事業名 その他、目的を達成するために必要な事業

(1) 助成活動

開発建設部の「みなとの相談窓口」等を通じて推薦を頂くと共に、多数の応募が可能となるよう当NPO法人のホームページに令和4月上旬より募集要領を掲載し、4月上旬から5月上旬にかけ募集しました。

今年度も新型コロナウイルスの影響がある中、各イベント開催の回復もあり一般の部に6件特定の部に3件の申請がありました。

助成事業評価審査委員会は、新型コロナウイルス感染防止のため、昨年同様一同に集まる会議形式での審査委員会は開催しないこととし、応募に係わる書類を審査委員の方々に郵送して個別に審査していただくこととしました。

審査の結果、一般の部に申請のあった6件と特定の部3件すべてを助成事業の対象とし、それぞれの申請者に通知しました。

令和4年度の活動名と団体名は助成事業一覧のとおりです。

NPO 法人 北海道みなとの文化振興機構 助成事業一覧

	活 動 名	団 体 名
一 般 分	うみの日コンサート 記念植樹事業のメンテナンス	みなとまちづくり 女性ネットワーク室蘭
	漁港区の美化活動 みなとコンサート	女性みなと街づくり苫小牧
	みなとオアシス歓迎事業	釧路みなとオアシス協議会
	第18回WAKKANAIみなとコンサート	稚内のみなとを考える 女性ネットワーク
	紋別港防波堤イルミネーション事業	みなとまちづくり 女性ネットワーク・オホーツク
	室蘭港開港150周年記念事業 みなとオアシスSea級グルメ北海道大会 in室蘭	みなとオアシス室蘭運営協議会
特 定 分	むろらん港鉄人舟漕ぎ大会	むろらん港鉄人舟漕ぎ大会 実行委員会
	釧路港舟漕ぎ大会	釧路港舟漕ぎ大会実行委員会
	みなと南極まつり 稚内副港ボートレース2020	稚内地元愛育成協議会

第2号議案

令和4年 特定非営利活動に係る収支決算書

会計期間 令和4年1月1日～令和4年12月31日

特定非営利活動法人北海道みなとの文化振興機構

▲:減額 (単位:円)

科 目	予 算 (A)	決 算 (B)	増減 (B)－(A)	摘 要
収 入	9,493,391	8,769,440	▲ 723,951	
会 費 収 入	2,773,000	2,749,000	▲ 24,000	
正会員(個人)	513,000	489,000	▲ 24,000	会員171名 会費納入163名
正会員(団体)	1,160,000	1,160,000	0	58団体 会費納入58団体
賛助会員	1,100,000	1,100,000	0	11法人
共催事業等協力金	1,700,000	1,000,000	▲ 700,000	パネル展(協賛金)、情報収集及び調査研究等(協力金)、等
預貯金利子	0	49	49	
繰越金	5,020,391	5,020,391	0	
支 出	4,560,000	2,584,151	▲ 1,975,849	
事 業 費	3,930,000	1,948,690	▲ 1,981,310	
みなとサポート業務等	110,000	62,480	▲ 47,520	障害保険
広 報 活 動	1,500,000	323,511	▲ 1,176,489	広報誌2回発刊
情報収集及び調査研究	700,000	443,839	▲ 256,161	報告書作成等
助成活動(特定)	300,000	151,265	▲ 148,735	助成、3件
助成活動(一般)	750,000	901,980	151,980	助成、6件
防災エキスパート支援	20,000	55,340	35,340	防災訓練参加
みなと座談会	500,000	0	▲ 500,000	開催地(未開催 R5 2月札幌予定)
ネットワーク強化	50,000	10,275	▲ 39,725	
総 会 費	130,000	235,418	105,418	
一 般 管 理 費	350,000	250,043	▲ 99,957	
着ぐるみ更新引当金	100,000	100,000	0	積立額(R4年12月末) 1,100,458円
防災活動派遣準備引当金	50,000	50,000	0	積立額(R4年12月末) 661,234円
収 支 差 額 (収入－支出)	4,933,391	6,185,289	1,251,898	次年度繰越 6,185,289円

監 査 報 告 書

令和5年 1月13日

NPO法人北海道みなとの文化振興機構
会 長 栗 林 定 正 殿

NPO法人北海道みなとの文化振興機構

監 事 吉 本 靖 俊 (印)

監 事 中 内 勉 (印)

私たち監事は、令和4年1月1日から令和4年12月31日までの令和3年における会計及び業務の監査を行いました。その結果について、次のとおり報告します。

1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査については、会計帳簿及び関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討しました。
- (2) 業務監査については、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて、業務執行の妥当性を検討しました。

2. 監 査 意 見

- (1) 令和4年事業報告書、令和4年収支決算書は会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財政状態を正しく示しているものと認めます。
- (2) 事業報告書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 理事の業務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する事実は、ないと認めます

第3号議案

令和5年度事業計画（案）

1 定款の事業名 港への理解と利用促進に係わる広報活動及び支援並びに 海洋及び港に係る教育、文化活動及び支援

（1）みなとサポート業務

「みなとサポート業務」は当NPO法人の自主事業として、北海道開発局各開発建設部管内で開催される「みなと見学会」などの支援要望行事に、当NPO法人会員の「みなとサポーター」を支援可能な箇所に派遣します。

（2）みなとパネル展

当NPO法人主催の「みなとパネル展」は例年通り、「ザ・シンポジウムみなと」実行委員会主催で開催される「ザ・シンポジウムみなと」に協賛して実施します。

（3）広報誌「伝言板」の発刊、ホームページの充実

当NPO法人の活動状況や関連情報を会員に伝えるとともに、一般の方々にも港の役割と暮らしとの関わりを広く理解していただくための伝言板は、令和5年度も年2回（4月・11月）の発刊を基本とします。

また、ホームページの改善及び充実に図り更新を随時実施します。

（4）着ぐるみ（「ぽーとん」くん・「べいくりん」ちゃん）貸付事業（有償）

着ぐるみは、今年度もみなとに係るイベントなどで要請のあるところへ有償で貸付を実施します。

（5）記念グッズの配布（無償）

当NPO法人の記念グッズ（ノート・ボールペン&マーカー・キャラクターシール）は、着ぐるみ貸付箇所及びサポーター業務実施箇所、助成事業などの活動箇所で要望がある箇所に配付します。

（6）北海道みなとの文化研究準備室から北海道みなとの文化研究室へ

北海道みなとの文化研究準備室は、令和元年6月に当NPO法人内に設立され、北海道内の子供たちに地域のみなとの歴史やまちづくりとの関わりなどについて、楽しみながらその魅力を感じ取ってもらうための方策を探り、そのために有効となるアクションプランを策定することを目的に、総勢13名（令和5年2月現在、理事長、相談役3名を含む）で活動しています。

その活動も3年を過ぎ、その間、小学校社会科副読本調査、先生へのアンケート調査、戦前を中心に道内港湾についてのみなととまちの発展の歴史を年表形式に整理するなどして、子供たちにみなとへの関心を高めてもらうための基礎調査を進めてきました。

上記の準備期間を経て、本総会以降は名称を「北海道みなとの文化研究室」とし、

アクションプランを具現化していくための活動を展開していきます。

具体的には「（仮称）北海道みなと探検シリーズ」として、小学生向けに北海道の各みなとの魅力を伝えるための小冊子や動画コンテンツの作成、また、一般の方を対象にSNSなどを活用したみなとの歴史や文化を紹介する「（仮称）北海道みなと探訪記」を作成し、配信などを行っていきます。

2 定款の事業名 港湾・空港・漁港の防災業務及び災害復旧に係る活動・支援

（１）防災エキスパート支援

北海道開発局港湾空港部（事務局）と連携し、北海道開発局防災エキスパート（港湾・空港・漁港）の災害時の出動に際し、より効果的な支援が可能となるよう伝達訓練や研修会に参加します。

また、過去の活動経験を踏まえて活動体制の改善を進めます。

3 定款の事業名 まちづくりの推進を図る活動等に関する情報収集

（１）みなと座談会

「みなとのまちおこし」「みなとの活性化」について考える「みなと座談会」は、「北海道みなとまちづくり女性ネットワーク」との共催で、地域で「まちの活性化」に取り組んでいる方々の参加を要請し開催します。

（２）ネットワーク強化

- ① 道内で活動している「北海道みなとまちづくり女性ネットワーク」との連携強化に努めます。
- ② 「北海道みなとオアシス活性化協議会」等まちづくり団体とのネットワーク強化に努めるとともに、更に多くの団体の活動内容をインターネットなどで情報を得るよう努めます。
- ③ 当NPO法人の現有4支部（札幌・函館・苫小牧・釧路）を維持し、支部長等会議などを開催して事務局・各支部間の意志の疎通を緊密に図ります。

（３）情報収集

- ① 「みなとオアシス全国協議会事務局」より発信される「みなとオアシス便り」でみなとオアシスに関する各地活動状況の情報を得るよう努めます。
- ② 北海道市民活動団体情報提供システムに登録し、北海道市民活動促進センターより発信される市民活動状況やNPO運営等に関する情報を得ることとします。
- ③ （一社）ウオーターフロント協会に入会し、港湾におけるウオーターフロント開発事業に関する情報を得ることとします。

4 定款の事業名 その他、目的を達成するために必要な事業

(1) 助成活動

例年同様「みなとまちの活性化」に寄与する事業への助成を実施します。

募集は、各開発建設部の「みなとの相談窓口」などを通じて推薦を頂くと共に、多数の応募が可能となるよう当NPO法人のホームページに募集要領を公表します。

第4号議案

令和5年 特定非営利活動に係る収支予算計画書（案）

会計期間 令和5年1月1日～令和5年12月31日

特定非営利活動法人北海道みなとの文化振興機構

（単位：円）

科 目	前年度実績	予 算	摘 要
収 入	8,769,440	10,655,289	
会 費 収 入	2,749,000	2,770,000	
正会員(個人)	489,000	510,000	170名
正会員(団体)	1,160,000	1,160,000	58団体
賛助会員	1,100,000	1,100,000	11法人
共催事業等協力金	1,000,000	1,700,000	着ぐるみ貸付、パネル展(協賛金)、 情報収集及び調査研究等(協力金)
預貯金利子	49	0	
繰越金等	5,020,391	6,185,289	
支 出	2,584,151	5,460,000	
事 業 費	1,948,690	4,460,000	
みなとサポート業務等	62,480	110,000	障害保険、交通費等
広 報 活 動	323,511	1,500,000	広報誌発刊、パネル展(パネル更新)等
情報収集及び調査研究	443,839	700,000	社会科副読本の収集及び活用に係 るヒアリング等
助 成 活 動(特定)	151,265	300,000	舟漕ぎ大会
助 成 活 動(一般)	901,980	750,000	文化、教育活動
防災エキスパート支援	55,340	50,000	防災訓練、施設点検訓練等
みなと座談会	0	1,000,000	R4(2月開催)及びR5
ネットワーク強化	10,275	50,000	
総 会 費	235,418	500,000	総会及び20周年祝賀行事
一 般 管 理 費	250,043	350,000	事務用品等(交通費等)
着ぐるみ更新引当金	100,000	100,000	積立額(R4年12月末) 1,100,458円
防災活動派遣準備引当金	50,000	50,000	積立額(R4年12月末) 661,234円
収 支 差 額 (収入－支出)	6,185,289	5,195,289	

第5号議案

役員選任について

役員名簿（案）

（敬称略）

役職名	氏 名	備 考
理 事	栗林 定正	再 任
〃	眞田 仁	再 任
〃	岩倉 博文	退 任
〃	蝦名 大也	新 任
〃	藤田 幸洋	再 任
〃	高橋 喜一	再 任
〃	上原 泰正	再 任
〃	百瀬 治	退 任
〃	中村 信之	再 任
〃	栗田 悟	再 任
〃	川合 紀章	再 任
〃	笹島 隆彦	再 任
〃	中島 靖	新 任
〃	大西 育子	再 任
〃	片石 温美	再 任
〃	福岡 康宣	退 任
監 事	吉本 靖俊	再 任
〃	中内 勲	再 任

役員総数15名（理事13名、監事2名）

任期 令和5年2月26日（日）～令和7年2月25日（火）